



錦画百事新聞 第十七号

大阪府下難波新地
中筋辺軒わかやう掛
りんご行合やん色と色

情の巻ふだりく今
替りたる遊客へ
夜毎くお引きた
此所ふり
席賃樓
の二所ふ頃

冬之初め、坐した三間をあへりりと香東
なる折もやを換へてさありの色ど立上り
かゝるの客を下目見とや、此年月のうんあ、幸苦
父の敵と移りひたる人、今、い憂憂花のひり
本望のうりとかひりく、身をりりめ色、来て出る
あゝもあゝ、真の勝負を決せん、立合ふ、坐中の
大さな花、咲仲居の花、散れ、その有様も、此家、要房

まふり、方、あゝ酒狂の上の事、あゝ、勝負の
勝負、追ての事、此事の許、さゝ、敵、あゝ
客人、いゝ、酒乱の二、せ、り、を、夫、と、さ
あゝ、客、あゝ、者、あゝ、か、り、ち、討、へ、あ、つ、う、ふ
赤竹の、蓮、唄、の、坐、あゝ、目、出、度、あゝ、
さ、う、一、笑、詠、う、や

編輯人、女、鳴、在、り、
印刷人、前、田、中、次、郎